

議 事 録

議 題	令和4年度東京都管工事工業協同組合及び三多摩管工事協同組合との意見交換会	
日 時	令和4年 12 月 19 日(月)13:30～15:00	
場 所	都庁第二本庁舎13階局議室	
出席者	■東京都管工事工業協同組合	6名
	◆三多摩管工事協同組合	3名
	□東京都住宅政策本部	8名
議 事 内 容		
<p>1 年間発注予定について</p> <p>□ 財務局の入札情報システムに年間発注予定を公表している。併せて、建築工事の発注予定や落札情報も公表しているので、参考としていただきたい。(財務局「入札情報サービス」のホームページを表示して説明)</p> <p>2 週休2日モデル工事について</p> <p>□ 週休2日モデル工事は、発注者指定として今後も発注していく予定であり、ご意見を伺いたい。</p> <p>■ 適正な工期設定にすること、仕様書に明記されれば週休2日工事に賛成である。</p> <p>◆ 建築工事も含め、現場全体の閉所日を設定することにより、週休2日が達成しやすくなる。</p> <p>□ 週休2日モデル工事は問題ないか。</p> <p>■ 問題なく実施できている。</p> <p>3 書類削減等生産性向上への取組について</p> <p>□ 書類削減についてご意見を伺いたい。また、都営住宅工事においてもクラウドの利用を試行しており、今後受注者に協力をお願いしたいと考えている。</p> <p>■ 例えば、民間工事では電子黒板の利用が進んでおり、発注仕様書に電子黒板の使用等が記載されている。</p> <p>■ 電子黒板を使うことで写真整理がしやすくなり生産性の向上につながる。記載内容など標準的な様式が定めれば、より利用しやすい。</p> <p>◆ 電子黒板等は、普及が進むことでアプリの価格の低下も期待できる。</p> <p>■ クラウドの活用は、書類提出にかかる移動時間が削減され生産性の向上につながる。</p> <p>□ 書類削減への取組として電子マニフェストの利用はどうか。</p> <p>■ 従来型のマニフェストを使用している場合が多い。電子マニフェストの普及推進には、産業廃棄物処理業者等への浸透も必要である。</p> <p>4 遠隔施工管理について</p> <p>□ デジタル技術の活用と遠隔施工管理について、活用例があれば伺いたい。特にオンライン会議での実施や、その印象についてもご意見を伺いたい。</p> <p>■ 区市でも遠隔施工管理を実施しており、効率化が図られている。</p> <p>■ オンライン会議などは業務効率化の効果が高いが、対応できない会社もある。</p> <p>■ 監督員の立ち合い確認が、遠隔で対応可能になれば時間の調整などが容易になる。満水試験など、</p>		

オンラインで確認を行うことで写真枚数削減につながる。

- 検査時の写真確認にパソコン等を活用することで紙の削減につながる。
- ◆ 写真の枚数が多いので、動画を利用することで削減が出来ないか。
- デジタル機器のセキュリティや情報管理などに関する教育について伺いたい。
- 自社 Wi-Fi の支給により、フリー Wi-Fi を利用しない対策を行っている。
- ◆ 個人情報を持ち出さないことを指導している。なお、社内で情報管理に関する講習会を実施している。

5 工事現場における脱炭素化に向けた取組について

- 工事現場での脱炭素化、省エネの取組があれば伺いたい。
- プレハブ材料を使用することにより、現場の作業が短縮され脱炭素化につながる。
- 工事用車両、バックホウの EV 化は費用が高額であり、対応しにくい。
- ◆ 例えば、仮設事務所で使用するエアコンを省エネ性能が高い機種に変更することで、脱炭素化を図ることが可能である。
- 仮設の太陽光発電設備のリースなどはあるか。
- ◆ 大手ゼネコンでは、現場事務所で太陽光発電設備を設置している事例もあるが、リース金額が高額になる。
- ◆ 発注段階で脱炭素に関する費用の積み上げが可能であれば、工事現場のイメージアップにもつながるため協力できる。

6 その他

- ウクライナ情勢や半導体不足などの影響について伺いたい。
- ◆ 半導体不足による納期遅れは解消しつつあるが、増圧ポンプの納期遅れは依然続いている。
- 材料の価格上昇のスピードが速い。物価上昇についてはスライドによる対応が必要となる。